

電池推進船「らいちょうS」に薄膜太陽電池を設置して運航 します。

電池推進船「らいちょうS（東京海洋大学所有）」に薄膜太陽電池を設置し、小網代湾において運航します。

次のとおり、進水式が実施されますので、お知らせします。

1 進水式の概要

- (1) 日時 平成28年5月6日(金) 15時～16時 ※雨天決行
- (2) 場所 シーボニアマリーナ（三浦市三崎町1286）
- (3) 主な参加者
神奈川県 黒岩祐治 知事
東京海洋大学 竹内俊郎 学長
㈱リビエラリゾート 小林昭雄 取締役社長

2 船に設置した薄膜太陽電池について

塩害に強く曲面に設置可能なグローバルソーラーエナジー社製の「Powerflex」を電池推進船の屋根に設置し、まずは、船内のモニター機器の電力として使用し、今後、専用の設備（昇圧器など）を設置した上で薄膜太陽電池を、動力源として運航します。

3 「らいちょうS」の概要

平成23年6月に東京海洋大学が開発した世界初の急速充電対応型電池推進船。

ガソリンの代わりに蓄電池に蓄えた電気を使い走行するため、航行中の排気ガスやCO₂の排出がなく、航行水域の環境保全に大きな効果があります。また、騒音や振動もほとんど生じません。

推進力にはプロペラの代わりに、ウォータージェットを採用することにより、水面付近にロープが張ってあるような海藻の養殖水域や浅瀬にも進水が可能です。

全 長・・・8.04m
全 幅・・・2.24m
定 員・・・11名



問い合わせ先

神奈川県産業労働局産業部エネルギー課

課長 天野 電話 045-210-4101

副課長 太田 電話 045-210-4102